

北朝鮮の砲撃事件に抗議し、毅然とした対処を求める決議

去る11月23日午後、北朝鮮による韓国・延坪島砲撃事件が発生した。朝鮮戦争休戦後も北朝鮮は何度も軍事行動を起こしてきたが、今回の砲撃は、韓国住民居住地区に対して行われたものであり、兵士の死傷に加え、民間人と民間の施設にまで被害が及ぶ初めての事態となった。

民間人が居住する島への無差別な砲撃は、朝鮮戦争の休戦協定はもとより、国連憲章にも、北朝鮮自身が当事者である南北間の諸合意にも反する無謀な行為である。成田市議会は、北朝鮮の軍事挑発行動を厳しく非難する。

今回の事態が万一再燃するようなことになれば、その被害は計り知れないものとなり、断じてこれ以上の拡大を許してはならない。

また、こうした事態に対して、我が国は毅然とした態度で、国際社会とともに厳しい姿勢で臨まなければならない。

よって、国は、下記の事項を行うべきである。

記

- 1 事態の拡大を招かぬよう対処すると同時に、朝鮮半島の恒久平和に向けて、国際社会との連携によりあらゆる外交努力を尽くすこと
 - 2 国連で非難決議などを行うよう早期に協議することを求めること
 - 3 在韓邦人の保護に万全の措置をとるよう韓国政府に要請すること
- 以上、決議する。

平成22年12月2日

千葉県成田市議会